

継続検討品目群(資材)

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

令和8年度版

提案品目名		品目概要	検討結果	
個別品目名	統合品目名		分類	理由等
建築向け外法一定H形鋼 (削減実績量付)	鉄鋼製品	公共工事に用いられる鉄鋼製品のうち、「建築向け外法一定H形鋼」について、温室効果ガス排出量に係る追加的な削減実績量が証書として付されたもの。(削減実績量付の製品の供給体制が整っているもの、かつ国の調達実績があるものを選定)	継続検討 E C	○提案された品目については、以下の理由により継続的に検討することとした。 E:追加プロジェクトによるCO2削減量を割り当てられたマスバランス製品について、トレーサビリティの透明性が求められるが、使用実績の管理・公表に関する具体的な方法が不明である。 C:コストが著しく高価で、普及によるコストの低下が不明。
高力ボルト (削減実績量付)	鉄鋼製品	公共工事に用いられる鉄鋼製品のうち、「高力ボルト」について、温室効果ガス排出量に係る追加的な削減実績量が証書として付されたもの。(削減実績量付の製品の供給体制が整っているもの、かつ国の調達実績があるものを選定)	継続検討 E C	○提案された品目については、以下の理由により継続的に検討することとした。 E:追加プロジェクトによるCO2削減量を割り当てられたマスバランス製品について、トレーサビリティの透明性が求められるが、使用実績の管理・公表に関する具体的な方法が不明である。 C:コストが著しく高価で、普及によるコストの低下が不明。
土工用エコスラグ	埋戻材、路床材等の土工用資材	エコスラグは、一般廃棄物(家庭ごみ)、下水汚泥またはそれらの焼却灰を約1,200℃以上の高温条件下で可燃分を燃焼させるとともに、灰分を溶融した後に冷却(水砕、徐冷)してガラス質または結晶質の固化物となったもので、これを埋戻材や路床材等の土工用資材として用いる。	継続検討 E Q S C	○提案された品目については、以下の理由により継続的に検討することとした。 E:環境面のメリットがあると判断できない ・1案件1,000m3以下の工事(電線共同溝の埋戻材など)において、天然砂を主に利用しているのか不明、また小規模工事に限定する理由も不明のため、環境面のメリットがあると判断できない Q:道路用溶融スラグを用いた国等の技術基準類が未整備 ・溶融スラグの力学的特性(支持力等)に関する根拠資料がなく、国(道路)等の基準を整備できる状況にない。 ・提案品目の材料特性が不明確(JIS A 5031及びJIS A 5032が規定する材料区分のどれに該当するのか不明)であるため、試験成績表による確認ができない S:対象工事を1000m3以下の工事に限定したものの、対象工事全体の需要量が不明 C:運搬距離の算出方法・運搬時の留意事項などが不明で、単価に反映されているか不明
グリーンスチール	鉄鋼製品	公共工事に用いられる鉄鋼製品のうち、「本設向け鋼矢板・鋼管矢板」及び「橋梁向け厚板」、「基礎向け鋼管杭・鋼管矢板」について、温室効果ガス排出量に係る追加的な削減実績量が証書として付されたもの。	継続検討 E C	○提案された品目については、以下の理由により継続的に検討することとした。 E:追加プロジェクトによるCO2削減量を割り当てられたマスバランス製品について、トレーサビリティの透明性が求められるが、使用実績の管理・公表に関する具体的な方法が不明である。 C:コストが著しく高価で、普及によるコストの低下が不明。
再生中温化アスファルト混合物	再生中温化アスファルト混合物	製造時の加熱温度を20℃以上低減した再生加熱アスファルト混合物	継続検討 Q C	○提案された品目については、以下の理由により継続的に検討することとした。 Q:品質確保について不確実性が残ると考えられる ・施工実績箇所の路面性状調査については、供用期間が短いほか、製造方法・混合物種類・施工層・交通量などが限定されたものであり、網羅的に提案品目の長期耐久性を証明するには不十分である。 C:経済性について不確実性が残ると考えられる ・添加剤を利用する場合と比べて、フォームドアスファルト発生装置を利用の方が相対的に安価になると考えられる。そのため、フォームドアスファルト発生装置を設置している合材工場が限定される地域においては、競争性が確保されないおそれがある。